

受賞の喜び、そして心からのお礼

関 莉果



この度は、「駐日中国大使賞」という素晴らしい賞を頂き、ありがとうございます。この知らせを聞いた

ときには、飛び上がるほど嬉しくて、信じられない気持ちでした。なぜなら、成田山全国競書大会で特別賞に入るとは、私が書道を始めた時からの夢だったからです。

私は、小学校三年生の秋から、栗津紅花先生に書道を習い始めました。あまり鉛筆の字が上手でなかった私を心配して、母が勧めてくれたことがきっかけです。紅花先生がお手本を書いてくださるのをじっと見るのが大好きで、墨の匂いに包まれて心穏やかに紙に向かい、筆で文字を書くことが楽しくて、お稽古すればするほど上達を感じられ、上手に書けないときも諦めずに練習して壁を乗り越えられると、大きな喜びがあります。今では、

書道が私の一部であり、私にとって大切な親友のような存在です。

今回私が書いた『文武両道』は、「文」が勉強、「武」が運動を表していて、そのどちらも努力するという意味です。私がこの課題を選んだ理由は、この課題を書くときが、もうすぐ中学生になるときだったので、「中学校生活は『文武両道』を目指して、充実したものにする」という決意を込めて書こう」と思ったからです。

紅花先生には、全体のバランス、一つ一つの字のバランスなど細部まで、何度もアドバイスをいただき、私も沢山練習を重ねました。この課題で一番難しかったのは、全ての字の縦横中心をそろえることでした。しかし、精一杯努力したおかげで、小学校生活の集大成とも言える素敵な作品に仕上がりました。素晴らしい賞も頂けて、大変嬉しく思っています。

今は、新型コロナウイルスのために、世界中の人々が苦しんでいます。私も、本当は表彰式に参加させていただいたり、沢山の書道を頑張る友人たちと交流したり、中国へ行って素晴らしい書道の作品を見たかったです。でも、今はみんなが我慢しているときです。私も涙をのんで、ぐっと我慢しようと思います。

六月に家族で、成田山で行われた作品展示を見に行きました。素敵に表装して頂いて嬉しかったです。沢山の素晴らしい入賞作品をみて、とても勉強になりました。

不動明王様にお参りして、「早くコロナが収

まりますように！私はこれからも、一生懸命書道を頑張ります。上達するように見守ってください。」とお願いました。ご褒美にいただいた筆と硯を大切に使って、もっともっと素敵な作品が書けるよう努力したいです。最後に、いつも熱心にご指導くださった大好きな栗津紅花先生、支えてくれる家族、私の作品を発表する場を与えてくださった成田山全国競書大会の審査員の先生方、関係者の皆様に、心からお礼を言いたいと思います。ありがとうございました。

